

助成年度：2018年度

[所属] 宇部工業高等専門学校

[役職] 教授

[氏名] 杉本 憲司

[課題]

人工・天然浅場に生育する生物の遺伝的な多様性の比較—人工浅場はどこまで天然浅場に近づけるのか—

[内容]

本研究の目的は、土木的な環境改善によって創出した浅場と、生物の放流や移植によって管理されている浅場、および天然浅場における遺伝的な多様性の比較を行い、人工浅場の評価をすることである。

アサリの遺伝的多様性は、人工干潟には依存せず、生育環境による影響が多かったことが推察された。人工砂泥性藻場に生育していたアマモおよびコアマモのヘテロ接合度の違いは、天然干潟の場所によって異なり、遺伝的多様性は人工的に砂泥性藻場が創出されたことには依存せず、生育環境による影響が多かったことが推察された。人工岩礁性藻場と天然岩礁性藻場に生育していたアカモクおよびクロメともに、遺伝的多様性の差は確認できなかった。人工干潟および人工砂泥性藻場に移入したアサリ、アマモおよびコアマモは5年以内に、人工岩礁性藻場に移入したアカモクおよびクロメは2年以内に、周辺の天然浅場と同様な遺伝的多様性に近づいた。